

精神分析的心理療法セミナーみえ・特別講義 2017

連携・協働を考える

～多(他)職種スタッフの中で専門性をどのように発揮していくか～

指定討論者	加藤 誠	(桜ヶ丘メンタルクリニック)
	平井 正三	(御池心理療法センター・NPO 法人 子どもの心理療法支援会)
	鈴木 誠	(くわな心理相談室・精神分析的な心理療法セミナーみえ代表)

日時:2017年3月20日(月・祝)

愛知県産業労働センター ウィンクあいち 903 会議室

午前の部 10:00～12:00

(受付 9:45～10:00)

【医療編】 10:00～12:00

「総合病院での実践」

事例発表者 前田 早奈美
(済生会松阪総合病院)

指定討論 加藤 誠

12:00～13:30 お昼休憩

午後の部 13:30～16:45

【教育編】 13:30～15:30

「学校現場での実践」

事例発表者 堀 英太郎
(愛知県スクールカウンセラー)

指定討論 鈴木 誠

【全体討議】 15:30～16:45

指定討論 平井 正三

私たち臨床心理士が働くフィールドは、カウンセリングや心理検査を行う相談室の中から学校、福祉施設、企業などの集団に至るまで、近年ますます多様になってきました。そして、私たち臨床心理士も個々に被援助者と関わるだけでなく、様々な分野において、多くの他職種の方々と連携・協働することが求められています。

今回の特別講義では、私たち臨床心理士が他の職種の人々とどのように連携・連働をしていくのかにスポットを当てました。バックグラウンドの違う様々な職種の人々が集まり、連携を行うとき、それぞれの専門性を発揮していくことがいかに困難で、骨の折れる作業であるかを私たちは経験的に知っています。心の専門家として私たち臨床心理士は、目の前の被援助者に対して、自分だけでなく、そこに集まっている専門家集団が最大限にその力を発揮するために、どんな仕事を行うことができるのかを、事例を通して考えていきたいと思えます。

今回の特別講義では、2つの事例検討の指定討論者に加藤先生、全体討議の指定討論者に平井先生をお招きしました。被援助者に即した援助を考え続けるための精神分析的な思考が、相談室の中だけでなく、対人援助が行われる全ての場所で、応用され、活用される可能性を探索する機会になればと思えます。フロアの皆さまにとって、毎日の臨床に役立てるヒントが一つでも得られたらと願っています。

申し込み手続きについて

【参加資格】 臨床心理士・心理系大学院生・医師・教員・保育士・児童指導員

【会場】

愛知県産業労働センター ウィンクあいち 903 会議室

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38 TEL: 052-571-6131

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【受講料】	セミナーみえメンバーシップの方	無料
	メンバーシップ以外の方	5,000 円

【申込方法】

★メンバーシップ会員は参加されているセミナーの事務局までご連絡ください。

★メンバーシップ以外の方は、E-mail（又は FAX）の件名に「特別講義参加希望」と明記して、氏名、所属・職種、住所、電話番号、メールアドレスを記載し、お申し込みください。同時に、下記の銀行口座に受講料をお振込み下さい。お申込みと参加費の入金の確認をもって、参加可能とし、こちらからの連絡はいたしません。定員オーバーなど当方の都合により参加不可の方のみ、ご返金いたします。当日、受付にて振込の確認をさせていただくことがありますので、振込の控えをご持参ください。

【締め切り】 2017年2月25日（土）

【振込先】 ゆうちょ銀行 **【店名】** 二二八（ニニハチ店） **【店番】** 228

【種目】 普通預金 **【口座番号】** 1019682

【申込先】 精神分析的心理療法セミナーみえ事務局

E-mail : tokubetu@mie-psychotherapy.net

Fax : 0594-82-5885

メンバーシップ制とは

メンバーシップ制とは、年会費 10000 円をお支払いいただいた方に、セミナーみえ主催の研修会にメンバーシップ価格で受講していただくことができます。また、日本精神分析学会認定資格の取得のための援助、セミナーみえが行う調査・研究事業に参加する機会や自主勉強会の会場提供などを行います。

メンバーシップ制を導入することで、より多くの研修機会を皆様に提供し、資格取得や複数のセミナー受講に対する経済的な負担を軽減していきたいと考えています。

是非、この機会にメンバーシップ制に賛同いただき、精神分析的心理療法みえのセミナーに参加しませんか。